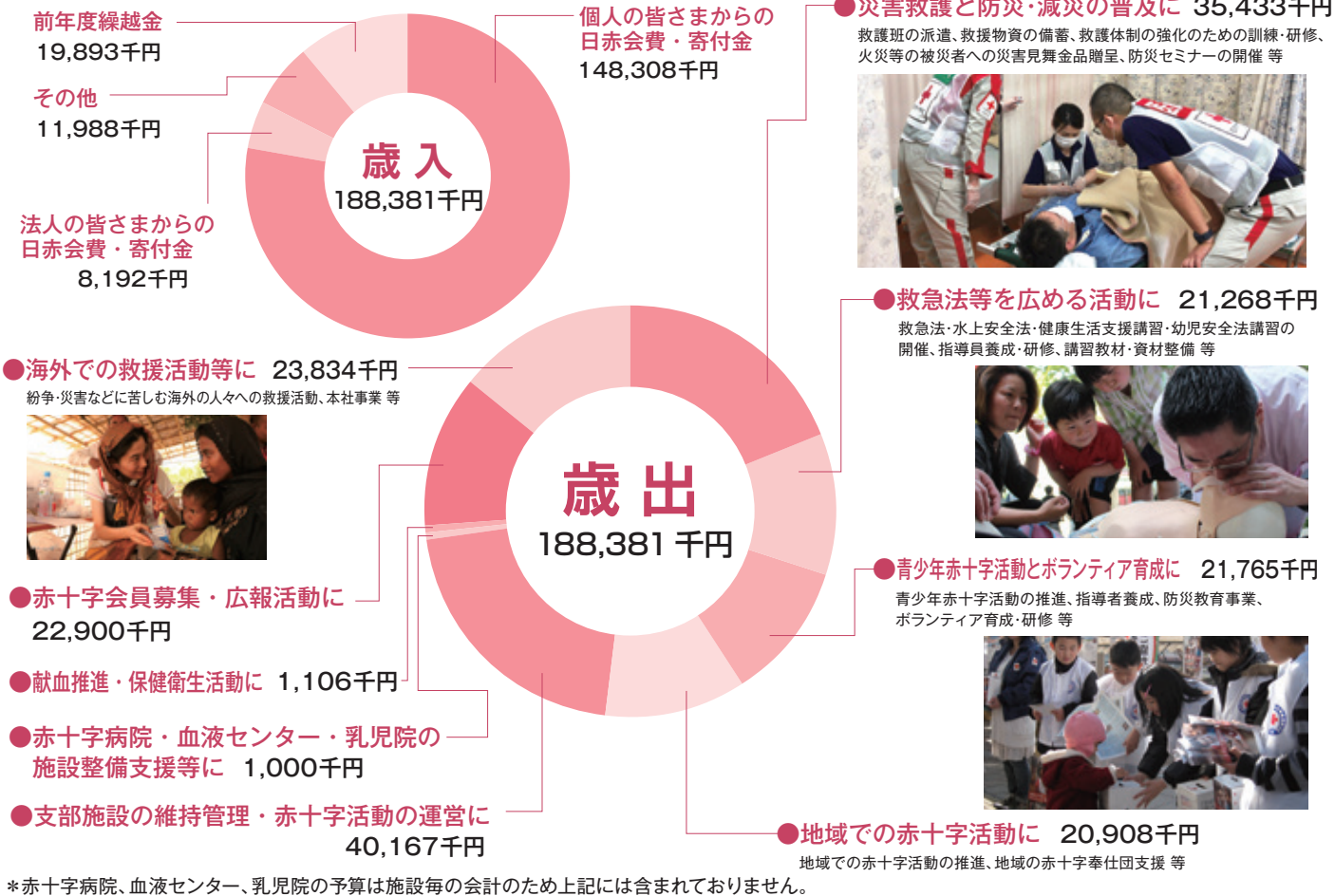


2019年度 日赤島根県支部の収支予算

皆さまからお寄せいただく日赤会費や寄付金を財源に、日赤島根県支部で計画している災害救護活動、救急法等の講習、ボランティアの育成などにかかる歳入歳出予算は、以下のとおりです。



活動資金（日赤会費・寄付金）へのご協力ありがとうございました

3万円以上の日赤会費・寄付金にご協力いただき、掲載にご了解いただいた皆さまをご紹介します。（対象期間：2018年8月1日～2019年2月28日）

●個人の皆さま		●法人・団体の皆さま	
伊藤 範子（松江市）	蓮岡 隆章（出雲市）	アースサポート(株)（松江市）	大学前の内科クリニック（松江市）
小原 正嗣（松江市）	岡田 和悟（大田市）	(有)伊藤金次郎商店（松江市）	津田小学校前よしの医院（松江市）
加藤 啓子（松江市）	高見 明秀（安来市）	(有)エム・コーテック（松江市）	(株)テクニカルカンパニー（松江市）
木村 信子（松江市）	渡部 榮子（安来市）	(医)吉祥会（松江市）	(株)ホンダクリオ島根（松江市）
中筋 廣昭（松江市）	鈴木 信介（江津市）	熊野大社（松江市）	(有)トラスト・A（松江市）
原田美智子（松江市）	松浦 暢夫（吉賀町）	小林クリニック（松江市）	(有)日本庭園由志園（松江市）
星野 潮（松江市）	小笠原康二（吉賀町）	(株)山陰合同銀行（松江市）	北陽警備保障(株)（松江市）
椋木 和雄（松江市）		(株)さんびる（松江市）	メディカルハーブクリニック・ひらひら（松江市）
持田 秀穂（松江市）		島根自動車(株)（松江市）	龍覚寺（松江市）
奥本 和夫（浜田市）		島根水道(株)（松江市）	第一建設工業(株)（浜田市）
山崎 太郎（浜田市）		島根電工(株)（松江市）	(株)第一ホーム（松江市）
吾郷 雄二（出雲市）		(株)島根東亜建物管理（松江市）	(有)コクヨー（出雲市）
昌子 洋（出雲市）		城北産科婦人科クリニック（松江市）	(株)島根ワイナリー（出雲市）
多久和米造（出雲市）		JUKI 松江(株)（松江市）	(同)セノオ機械設計（出雲市）
中澤 悦子（出雲市）		(一社)生命保険協会島根県協会（松江市）	福岡商事(株)（出雲市）
新田 俊之（出雲市）		善福寺（松江市）	石見銀山建設(株)（大田市）

*紙面の都合上ご紹介できませんが、この他にも多くの皆様から活動資金にご協力をいただきました。心より御礼申し上げます。

※敬称略・順不同

プレゼント「クロス防災グッズ」を10名様にプレゼント!

以下を明記のうえ、ハガキでご応募ください。

- ①名前 ②郵便番号 ③住所 ④電話番号
⑤年齢 ⑥本紙へのご意見・ご感想

- 応募先 〒690-0873 松江市内中原町40 日赤島根県支部 総務課
●応募締切 2019年6月28日(金) 必着

※当選者の発表は、商品の発送をもって代えさせていただきます。また収集した個人情報につきましては、個人情報保護法及び日本赤十字社の保有する個人情報保護規程に則り取り扱います。



しまねの赤十字

日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

vol.
85
2019.4



未来のために
いま備える
日本赤十字社の
防災・減災活動

防災セミナーで、ホットタオル作りに挑戦!
〔雲南市大東町〕

*コップ1杯の熱湯があれば、ホットタオルが作れます。
避難先等で入浴ができない場合は、これで体や髪を拭きましょう!
作り方は、中面で紹介しています。

災害に
対応する力を
地域で
育もう!

島根の皆さまのご協力（日赤会費・寄付金）のおかげで、
私たちは、「いのちを救う活動」をつづけていくことができます。
日ごろのご支援に心より感謝申し上げます。

編集・発行 日本赤十字社島根県支部
〒690-0873 松江市内中原町40
TEL 0852-21-4237
URL <http://www.shimane.jrc.or.jp>

未来のために、いま備える。

地震や豪雨など、さまざまな災害が襲う日本。

日ごろから備えの重要さに、気づき、考え、実行することが、自分を、そして大切な人たちを災害から守ります。

日本赤十字社は、防災セミナーや防災教育を通じて、防災・減災の重要さを訴え続けていきます。

未来のために、いま備える。



Q 「災害による被害をできるだけ少なくするために大切なことは何ですか？」



備えは日ごろから！
減災チェックを
してみましょう！

A まずは自分や家族の身は自分たちで守る。(自助)

災害が発生した時、最も重要なこと。

そのためには、日ごろから安全対策の意識を高めておくと共に、身の安全の守り方を知っておく必要があります。



互いに協力し、助け合う。(共助)

大災害が発生した直後は、公的機関自身も被災したり、また、道路や通信手段が破壊されたりすることで、公的な支援はすぐには届かないことが考えられます。

地域の人たちが共に協力し、倒壊した家屋から人を助け出したり、ケガ人を手当するには、ふだんから“顔の見える”交流や、救急法講習などを通して、知識や技術を身につけ、行動することが重要です。

減災チェックリスト (地震編)

- ☐ 家具が転倒防止器具などで壁に固定されているか。
- ☐ 家具が移動してこないように工夫してあるか。
- ☐ 家具の上や高い所に重い荷物が置かれていないか。
- ☐ ガラス窓やガラス戸にひびが入っていないか。
- ☐ ガラスは飛散防止フィルムで保護してあるか。
- ☐ ピアノや書棚など重い物が上の階に置かれていないか。
- ☐ 食器棚や本棚の中身は、飛び出さないような工夫がしてあるか。
- ☐ 部屋の中の物は整理整頓されているか。
- ☐ 家の中に避難経路・避難口は確保されているか。
- ☐ 扉や窓の開閉はスムーズか。

Q 「地震や洪水が起きた時、迷わずに指定緊急避難場所まで向かうことができますか？」



A 災害時には早く安全な場所に避難することが重要です。

そのために、災害が起きた時の緊急的な避難場所である「指定緊急避難場所」を確認したり、ハザードマップで住んでいる地域の避難場所や被災想定区域などを確認しておくことが大切です。

減災チェックリスト

- ☐ 自分の町の避難場所を知っているか。
- ☐ 自宅から避難場所まで複数の避難経路を歩いたことがあるか。

Q 「目の前にケガをしている人がいます。あなたは、その人を救うことができますか？」



A 正しい手当を身につけておくことが重要です。

災害時は、ふだんのように救急車がかけつけられないことも考えられます。こうした場合に備え、事前に正しい手当を学び、身につけておくことが重要です。

応急手当を詳しくみる

<http://www.tokyo.jrc.or.jp/application/webcross/movie.html#prettyPhoto>



防災セミナー (地域の防災マップ作りに取り組む参加者)

日本赤十字社の防災・減災活動

日本赤十字社では、将来起こりうる災害に対応する力を社会全体で育んでいくために、様々な防災・減災に関する活動を行っています。



防災セミナー



青少年向け防災教育



防災セミナー



救援物資の備蓄

これらの活動は、皆さまのご支援(日赤会費・寄付金)によって支えられています。防災・減災活動をつづけるために、皆さまのあたたかいご支援をお願いいたします。

○セミナー・講習のお問い合わせ 日赤島根県支部 事業推進課 TEL 0852-21-4237

避難所で髪や体を拭くならこれ！ホットタオルの作り方

非常時の便利ワザ
リラックス効果も！

準備品

- タオル…2枚
- レジ袋…1枚
- 熱湯…約100～120ml
- ※ タオルが湿る程度

手順

1 レジ袋にタオル1枚入れ熱湯をかける。

2 乾いたタオルに包んで軽く押える。



* ホットタオルを作るときや使用するとき、やけどに注意してください。